

会 議 録	
会議名	令和5年度第2回在宅医療・介護連携推進協議会 研修部会
日 時	令和5年7月19日(火) 13時30分～14時30分
会 場	グーグルミートWEB会議
参加者	<p>【会長】高橋公一(みさと中央クリニック)</p> <p>【副部会長】佐藤真人(たかの薬局)</p> <p>【委員】榊原佳彦(三愛会総合病院)、三瓶裕之(三郷ケアセンター)、吉野良佑(地域包括支援センターみさと中央)、山本洋子(ファミリーケアたかの)、宮田姫芳(アスカ訪問看護ステーション)</p> <p>【サポートセンター/三郷市医師会】藤井なほ美、川島幸道</p> <p>【市事務局】八巻絢子、小笠原郷太、久保田恵子</p> <p style="text-align: right;">(敬称略)</p>
検討課題	<p>1. 実行案</p> <p>2. 日程</p>
内 容	<p>※実際に行う実行案の検討と日時の決定を議論する。</p> <p>1. 今年度の研修内容について前回の検討結果から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・WEB配信と会場のハイブリット方式を検討する。 ・内容について：在宅看取りの研修を行う。 ・医療介護関係者がそれぞれどのような「在宅看取り」を行っているか。 ・事例を用いたディスカッション <p>2. 実行案</p> <p>※以下①～⑦の資料を基にして検討した。</p> <p>①在宅看取りの詳細な内容について</p> <p>■各職種は何を聞きたいか、そして何をテーマとするか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協議会の議題(研修の基礎課題) ACPについて理解不足 : 各職種のACPの理解が十分でない 各職種の互いの理解不足 : 各職種の役割の認識不足 情報共有・連携不足 : 意思の共有ができていないか ・内容案 ACP : 開始のタイミング・病状や生活背景の把握・

	<p>家族への働きかけ・職員教育 ACP の理解、意義。</p> <p>各職種役割の理解：現状や工夫している事の説明・考え方 お互いが求めている事の理解</p> <p>情報共有・連携：成功体験、取り組み、経験や振り返り、事例</p> <p>②役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表者（在宅看取りに関する事例を出してもらう） （7人各5分 35分） 訪問診療、訪問薬剤師、訪問看護、ケアマネ、訪問介護、 訪問リハ、施設 ・委員より司会を決める。 ・ディスカッションまとめ：高橋先生 <p>③研修会の流れについて</p> <p>実行案【案】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 開会の挨拶 2. 発表 3. ディスカッション 4. 高橋先生から閉会の言葉。 <p>④会場と日時</p> <ul style="list-style-type: none"> ・におどり会場 （10/7（土）2面、11/25（土）2面、2/17(土)3面、3/16（土）3面） ・当日、委員の集合をお願いします。 <p>⑤講演方法・配信方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会場とWEB配信のハイブリット型【案】 ・録画によるYoutube配信【案】 <p>⑥報酬について（前例を参考にして）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・WEB配信業者 111,370円～ ・発表者、司会報酬 5,000円（講演料3000円／交通費2000円） <p>⑦その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表内容パワーポイントをMCSで共有 ・チラシの作成。研修会1か月まえにはFAX、MCSにて通知 <p>【実行案について各委員の意見】</p> <p>■前回の意見では1事例を皆でディスカッションという事だったが、各委員で事例を出し合うのか。1事例の方が共有しやすいのではないか。報告だけになり、それぞれの立場が分かりにくくなるのでは。</p>
--	---

- 1 事例を皆でディスカッションするということは予め、各職種がそれに対してどう関わるかというシナリオを作って置かなければいけないと思う。それは準備が必要で各委員の負担が大きくなるので、皆の経験談の中でお看取りにどう関わったか、ディスカッションするのも良いのではと思う。例えば、事例で施設看取りをお願いしようと取り組みをしているが、それについて意見や助言を貰いたいでもいいかもしれない。
- 全事業所が関わる1つの物語を作るのは難しい。経験事例の中で成功や失敗、どうしたら良かったのかをディスカッションするのが良いのかなと思う。事例を出せない事業所もあるということなら出せる事業所だけで発表するのも良いと思う。
- リハ協議会のなかでもセラピストとしてお看取りに関わった方がいるので、どう関わったか、どのような苦慮があったのか等、問題提議は出来ると思う。病院内ではなかなか無いがグループ内の訪看のPTやOT、看多機のスタッフ等とも相談したいと思う。
- 三郷市内に3つの訪問介護事業所グループがあり、困った事、こうすればよかった等を発表できると思う。別の業種の視点からアドバイスを頂けたら、勉強になると思う。
- 施設では在宅看取りがあった場合、利用者が自宅に戻った時に家族がどういったケアをするのかとか、施設はどんなことができるのかは言えると思う。それについて意見やアドバイスがあれば、良い。
- 1事例で物語を作れば膨大な情報が得られるのではないか。それぞれの事業所の事例発表とそれぞれのディスカッションだと議題の収束することが難しく、時間が足りなくなってしまうのではないか。1事例で物語を作ったほうが良いと持った。
- 多職種との連携ということにおいて、薬剤師には難しいテーマと思う。
- 全体で1時間位。1人5分7事業所で35分、ディスカッションを15分とすると、1事業所2分しかない。ディスカッションを長くする方が良い。各事業所の看取りに関わる取り組みに違う業種からの別の見方を話してもらいディスカッションすることが連携に繋がり、有意義になると思う。
発表者を絞って行い、発表できなかつた方はディスカッションで意見をいって貰うのはどうだろうか。
- お互いの事務所で同じ利用者の事例があれば、まとめやすく

	<p>ディスカッションし易いのでなお良い。</p> <p>■ディスカッションについてはテーマを決めなくても在宅看取りに繋がるものであれば良い。まとめを高橋先生へお願いする。</p>
結 論	<p>1. 研修内容：</p> <p>■三郷市多職種向け在宅看取り研修会</p> <p>日にち：令和5年11月25日（土）</p> <p>時 間：14：30～15：30（1時間程度）</p> <p>場 所：三郷中央におどり会場 AB会議室 9時～17時</p> <p>方 法：会場とZoomのハイブリット型</p> <p>内 容：3～5名位の発表者＋ディスカッション</p> <p>2. 事例を挙げられる方を発表者とする。</p> <p>事例を挙げられる方はMCSにて8月14日（月）までに挙げてもらう。</p> <p>可能であれば他の委員の事業所と同じ利用者の事例があれば良い。</p> <p>3. 報酬、その他、研修会の流れ了承。</p> <p>4. 次回開催 令和4年9月 日</p> <p>第3回研修部会 13：30～ WEB会議</p> <p>高橋先生とご相談の上、後日MCSでお知らせする。</p> <p>内容：研修会の詳細と確認。</p>